

「ふれあいの森【駄留桜々良の森】」における森林整備活動等の取組

九州森林管理局 西都児湯森林管理署
木城森林事務所首席森林官 中村 正任
森林技術指導官 福岡 忠行
宮崎県 児湯農林振興局 林務課長 江藤 能充



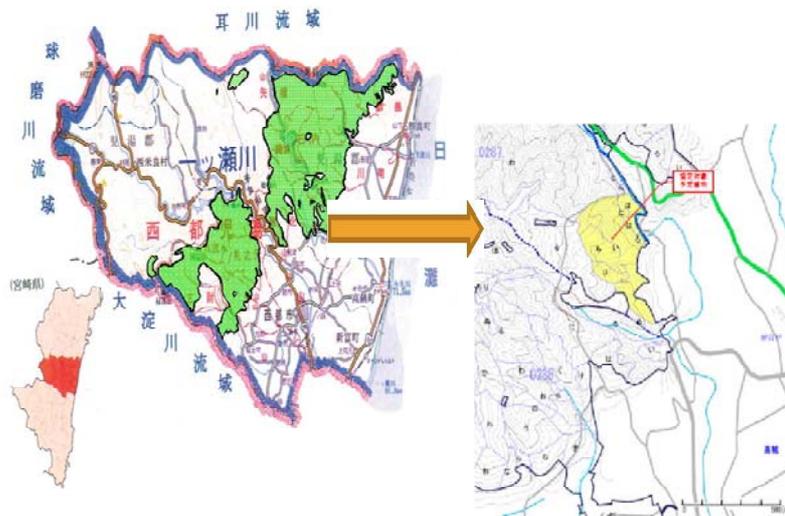
(左から江藤さん、中村さん、福岡さん)

1 課題を取り上げた背景

宮崎県の野生鳥獣による農林作物等への被害額は平成24年度で11億円を超え、その9割弱がシカ、イノシシ、サルによる被害であり、農林家の生産意欲の減退等影響は大きく、早急な対応が求められています。

宮崎県木城町駄留地区は、宮崎県の「鳥獣被害対策緊急プロジェクト」の中で、平成23年度にモデル集落に選定され、地域ぐるみの活動と関係機関（児湯農林振興局、鳥獣被害対策支援センター、木城町）一体となった被害防止対策を推進しています。

宮崎県児湯郡木城町駄留地区位置図



防護策柵の設置状況



シカ駆除PR看板設置状況



研修会の実施状況

これまで実施してきた田・畑周辺の活動から、森林エリアを含んだ広範囲での鳥獣被害防止活動や森林と集落等を活かした新たな「駄留地区の地域づくり」を実施するために西都児湯森林管理署と宮崎県児湯農林振興局林務課、駄留地区鳥獣被害対策協議会で現地検討会や協議を重ね、平成26年8月4日に民・国連携をスタートさせ、三者による活動を展開しているところです。



三者による協議状況

2 取組の概要

鳥獣被害対策に住民一丸となって取り組んでいる宮崎県木城町駄留地区の鳥獣被害対策協議会会長と西都児湯森林管理署長との間で「ふれあいの森」の協定を結び、地区内私有林と隣接する国有林（約14ha）一帯において、「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用し、①鳥獣防護策等を設置し、②森林緩衝帯【鳥獣が隠れたり、様子をうかがう事の出来るスペース（潜み場）とならないよう、除伐等により整備】を整備するとともに、③シカ个体数の調整を行います。



「ふれあいの森」締結

森林緩衝帯の整備については、見通しを確保するため、①株たちの樹木の斜めの幹・枝、下層の低木性樹種、高木性でも幹・枝が曲がっているもの及び枝・幹が低い位置についているものの除伐・枝落しを実施するほか、②空閑地の下刈り、つる切りも実施します。

シカ生息密度表（宮崎県提供）

シカ個体数の調整については、宮崎県実施のモニタリング調査の結果当地区には73頭/km²のシカが生息しており、これを県の特定鳥獣保護管理計画に基づき2頭/km²を目標に積極的な捕獲を行います。

市町村名	年 度				
	2004	2006	2008	2010	2012
木城町	26.2	31.7	45.7	33.7	73.5
西都市	89.9	27.6	20.8	73.2	37.3
川南町	80.4	66	16.1	2.7	44.1
都農町	69.4	38.2	119.4	54.5	57.9
西米良村	13.5	2.9	7.5	2.5	22.5
県平均	61.7	39.7	39.7	35.6	39.4

3 「ふれあいの森」森林整備活動

これらの活動と一体となって、歩道を作設し、地区住民の憩いの場として、自然観察会などが行える森として活用します。

西都児湯森林管理署は、森林緩衝帯の整備に当たって、技術的なアドバイス等を通じ、地区住民の自主的な森林づくり活動を支援するとともに、箱罟等の捕獲方法を指導し獣害対策についても支援します。

平成26年度活動実績

除伐 (ha)	7 h a
歩道整備 (m)	5 0 0
自然観察会	1

平成27年度活動計画

除伐 (ha)	7 h a
歩道整備 (m)	1, 0 0 0
自然観察会	1

平成28年度活動計画

除伐 (ha)	7 h a
歩道整備 (m)	1, 0 0 0
自然観察会	1



箱罟の研修会の状況

4 最後に

宮崎県は、鳥獣被害防止対策を推進するため、「鳥獣被害防止緊急対策会議」を設置しており、森林管理署も会員として参加しています。

引き続き、民国連携して鳥獣対策に取り組むとともに、当地区の鳥獣対策が進み、地区住民に明るい笑顔が戻り、住民による森林づくり活動を通じ駄留地区が憩いの場となるよう支援します。